



No.105 しお風提言

2,3ページに掲載

東京大学果樹園跡地は二宮の宝！
選挙道具にせずに輝かせたい。

しお風

発行 まちづくり工房「しお風」 責任者 神保智子 二宮町二宮 1931-3

☎ 090-3142-9358 ☎ & fax 0463-70-1018 メールアドレス shiokaze@mj.scn-net.ne.jp

ホームページ <http://shiokazecommunity.jimdo.com> しお風ブログ「湘南♡風と星物語」in 二宮 <http://shiokaze.blog.jp/>



二宮の特産品のみかん。5月に花が終わり、小さな青い実は、8月下旬頃爽やかな果汁をたっぷり含んだ青い実に成長します。晩秋に美味しいみかんが収穫できるように、この季節にたくさんできた実を間引きます。間引いた実を青摘みかんと「しお風」は呼んでいます。

地元農家では青摘みかんの果汁を水で割って飲み物に、青い皮をそうめんの薬味、つゆに果汁を絞り、暑気払いとして、香り高い爽やかな美味しさを楽しんできました。

「しお風」は、東京大学果樹園跡地で子ども達が二宮独自の七夕に挑戦し、流しそうめんを楽しむ「walkwalk(ワクワク)こどもふるさと探検隊」を開催してきました。

今はコロナ禍で流しそうめんもできませんが、また楽しむことを願っています。せめて、青摘みかんを使った飲み物やドレッシングにし、採れたて野菜を味わって、暑気払い。8月28日(土)にチャリティのみやまち歩き「東京大学果樹園跡地魅力探訪～農のある暮らし」を「二宮遊学の衆」が開催します。参加してみたいはかがでしょうか。

(このイベントについては8ページをご覧ください。)



のつぶやき



「二宮遊学の衆」が東京大学果樹園跡地の様々な調査速報をまとめて。

「しお風」は、先人が二宮の魅力に気づき、愛した遺産を今だからこそ私たちの暮らしにも活かしたいと、二宮の魅力づくりの一環として東京大学果樹園跡地で様々な調査や活動をしてきました。ここは、豊かな自然の中で二宮の大地の成り立ちや歴史、文化を知ることができる貴重な文化財が存在するアカデミックな場所。二宮の未来を担う子ども達が体験や学ぶ楽しさを体感できます。しかし、このことが忘れられ、自然や文化財は荒廃しています。ここ独自の魅力を活かした再生をしたいと考えてきました。

この想いを今年3月に発足した「二宮遊学の衆」が引き継ぎ、諏訪脇横穴墓群確認調査、樹木現況確認調査、近代建築物調査、水路の発掘と再生を行っています。この四つの調査速報報告書を6月にまとめました。調査活動は今後も継続していき、住民による跡地の本格的な再生につなげられたいと思います。まさに「しお風」の夢「住民が主役の共育のまちづくり」の具現化です。報告書は、まちかど遊学文化コミュニティのギャラリー(場所は、6ページをご覧ください。)に置いてありますので、ぜひ、ご覧ください。

しお風ブログ「湘南♡風と星物語」in 二宮に読者登録してください。下記のQRコードからアクセスできます。



- 1 ページ しお風のつぶやき「二宮遊学の衆」が東京大学果樹園跡地の様々な調査速報をまとめて、未来に伝えたい暮らしの風景 その27「青摘みかんで流しそうめんを再び楽しむことを願って」
- 2,3 ページ しお風提言「東京大学果樹園跡地は二宮の宝！選挙道具にせずに輝かせたい。」、山川文学まち散歩 7話「民主主義、自由とは？②」、東京大学果樹園跡地花便り～小暑の頃
- 4,5 ページ やじうま議会ウォッチング令和3年6月議会「熟慮不足の議会運営の改革を」、季節の食「夏には酢の物」、9月議会を楽しもう！
- 6,7 ページ 湘南♡風と星物語「東京大学果樹園跡地で遊学文化活動実践中！5/17 近代建築物調査を実施。5/20 第1回チャリティ町歩き開催。6/3 樹木現況確認調査で果樹園のりんご、栗の木など発見！5/27 6/9 花の苗を植栽しました。7/14 水路の再生まっしぐら期待膨らむ。」「まちかど遊学文化コミュニティ」、「まちなか♡ほっと花処～夏至の頃」、畑でインド食その9「畑のものだけで美味しい一皿」、ゆるゆる畑づくり通信その6「自然に合わせ、土と人と過ごす」、平塚市美術館企画展開館30周年記念「studio COOCAの/パパラパラダイス 2021-これがとってむといです」、「The Gift 寄贈を受けた作品選+新收藏品展」、平塚市博物館夏期特別展「平塚空襲その時、それまで、それから」
- 8 ページ チャリティ町歩き「東京大学果樹園跡地魅力探訪」、しお風お知らせ、そと教えたいお店「ソフォンキのお店 fuwa-fuwa」、湘南みかん♡育て隊参加者募集中！、walkwalk 地域探検参加者募集中！



共育のまちづくり

東京大学果樹園跡地は二宮の宝！

選挙道具にせずに輝かせたい。

今のままで良いのか！

二宮町は2014年に「消滅可能性都市」と指摘されました。

二宮町の2060年の目標人口は現在より一万人減の17000人。人口減だけでなく生産年齢人口が現在の半分と予測され税収は大幅減。特に収入源となる事業もなく、人口減に比して扶助費の負担は減りません。

国や県の補助金を使って多くの公共施設を建設し、或いは購入した土地は未利用のまま、その結果維持管理の多額の経済的ツケに直面しています。それで、公共施設再配置、町有地有効活用の取組みも浮上しました。

この取組みのシンボル事業の一つが東京大学果樹園跡地(以下「跡地」)の交流拠点としての有効活用です。現在人口は転入超過になっていますが、少子化は進み、生産年齢の病気の増加も推測されます。**消滅可能性はまだ存在しています。**

東京大学果樹園跡地の魅力

跡地は元園田孝吉男爵の療養のための別荘と梨園。

この場所を経済的みかん栽培ができるという理由で東京帝国大学が1925(大正14)年に購入。その後、1988(昭和63)年までに周辺の水田等も購入して約37,000㎡の面積です。

銘木、果樹、野草などの豊かな自然、二宮の特異な大地の成り立ちや町の歴史、時代を映す場所。産業遺産と二宮固有の特徴が融合した独自性を作り、町の魅力形成に非常に重要な場所です。

二宮町の将来のカギを握る秘められた宝とも言えます。

★魅力1 特異な大地から貴重な出土品

二宮は四つのプレートが近接する地学的に世界でも珍しい場所に位置。70〜50万年前水深200m程の浅い海だった時代に堆積した地層「二宮層群」の露頭が、跡地では県内一広い範囲で見られます。

そして、南向斜面と西南向き斜面に広がる諏訪脇横穴墓群は、53基が確認されています。ほとんどが盗掘されていますが、出土品は、金メッキ(金銅装)が施されているもの、他に直刀の鏢、装身具の金環があり、馬具にも当時、南洋の海に生息していたイモガイ製辻金具やガラス製、琥珀製の細工品など貴重なものもあります。全国的に知られる横穴墓です。



★魅力2 大正・昭和の近代建造物が

11棟 果樹園もセット現存

跡地内には19棟の建造物があり、そのうち大正・昭和の近代建造物は11棟です。

この中には園田男爵の別荘当時から肥料舎、赤い屋根・羽根板・出窓の当時としてはモダン

な洋館の管理舎、東京帝国大学総長、文化勲章受章者内田祥三が監修したと想定される学生宿舎、収納舎、生産物加工室も現存し、各建物が特徴的です。



そして、梨園、柿園、栗園、キウイ園も現存しています。このように近代建造物と果樹園がセット現存している事例は少なく貴重な地域資源です。

★魅力3 様々な木や水などの自然の

豊かさ

果樹園跡地なので、梨、柿、栗、キウイ、梅、山桃、ナツメ、グミ、フイチジュア、銀杏、リンゴ、杏子、スモモ、ポー、柑橘など多品種多数の果樹があるのは勿論です。

正門横のクロガネモチ、オオカ
ナメモチ、ヒヨクヒバ、アベマキのよ
うに樹齡を重ねた大木、葉の裏
面に字が書ける葉書の木とも言
われるタラヨウ、虫笛となるイス
ノキ、メイプルツリーなど珍しい
木もあります。

また、水も豊富で池、井戸、貯
水プール、埋もれた水路もあり、
水路を再生できれば親水性にも
富んだ場所になり、自然環境も
さらに向上します。



このような魅力を活かして、**季節と物語性のある跡地の再生**を
していけば、子どもから高齢者
まで**自分の存在や生きる喜びを
感じる居場所**となり、多くの人
を魅了するふれあいの場所とな
ることでしょう。

選挙の道具にしない跡地再生 に向けた真摯な行動を。

東京大学果樹園跡地活用協
議会が発足してから2年半。

「子どもとともに大人も楽しみ
学べる場」をコンセプトに交流拠
点づくりを進め、協働のまちづく
りモデルとなるはずが期待外れ。
もちろん進んだ面もあります
が、協議会内で公共性の欠如や
手続きの無視などがあり、自活の
道の討議は忘れられています。

跡地の南側のC地区(みらいは
らっぱ)の活用事業は、協議会事
務局を担う人達が代表権もない
のに動き、2020年1月臨時議会
が補正予算化。多額な金を費や
して整備工事やトレーラーハウス
の購入が行われましたが、管理
運営主体の応募はなく、2回目
の募集でやっと選定されました。

これは、熟慮をしなかった町や
議会の責任です。次の選挙の人氣
取り、反対するだけの批判は選
挙の道具としか思えません。

町長も議員のみなさんも二宮
の宝を輝かせるために課題を直
視し、問題をひとつずつ克服する
真摯な行動をしてください。

山川文学まち散歩

5話 民主主義、自由とは？②

山川方夫が30歳の時、1960
(昭和35)年の『文学界』8月号の
「自由のイメージ」に、自分にとっ
て戦中と戦後の自由のイメージが大
きく変化したと次のようなことを書
いています。

戦中は、悠々とB29編隊が飛んで
いく光のおびただしい晴れた青空、
美しい「無」の象徴、人間の一人もい
ない世界、「青空」のなかにのみ「自
由」をみつめ、馴らされてしまっ
ていたと。

戦後は、青空は天にかえり、自由
は自分の中に入り込み、他人たちの
間で恐怖なしに生きることができ
ず、それなしに決して自分の「自由」
を未来に進めていくこともできない
のだと。

そして、「民主主義」は、個人の自
由と責任を尊重し、保護するため、

人間たちがお互いの便利に作り上げ
た一つの手続きにすぎない。この手
続きが個の自分にとり、最も相対的
に便利だと判断するからこそ、固執
しようとするのである。「民主主義」
は人間についての不信、深い絶望が
創り出したとさえいえる。

でも、自分は人間たちの力関係を
コントロールするあらゆる他のルー
ルに比し、やはり当分は「民主主義」
を選ぶだろう。これは現代の文化、
尊重され、支持する人間達により、
力をあたえなければならぬ。

社会が再び野蛮なファッショの体
制へと逆行させられるのをおそれ
る。青空を再び自分の「自由」のイメ
ージにはしたくない。おそらく未来
には再び警職法、デモ規制法案、教
育統制、言論思想の弾圧、そして再
軍備、徴兵制度の実施が巧妙なタイ
ミングで綴られるだろう。自分の
「死」を拒否するため、それらに反
対を続けざるをえないだろう。

世界や日本の国の中でも「民主主
義」が危い状況ですが、これは二宮
町の地域の中でも常に考え、自分の
自由、未来を守るためにも行動して
いかなければなりません。特に公職
者、教育者は常に念頭に置いて行動
することを要求したいと思います。

「しお風」は、町の公共の場で「民主
主義」が無視されることを決して許
さないつもりです。

東京大学果樹園跡地花便り

～小暑の頃～



アメリカアイ

インドハマユウ

コスモス

ユリ

やじうま議会ウオッチン

令和3年6月議会「熟慮不足の議会運営の改革を」



今議会は、陳情3件、町長提出したことは、**議会軽視、ひいては町民の不利益に通じます。**

今議会では議会運営改革の必要性を痛感しました。

議会初日から一般会計6月補正

予算の修正動議(野地、二宮、羽根、松崎、坂本、露木、大沼、根岸 敬称省略)がなされ、修正案が可決。

体育館と町民運動場の管理運営業務を外委託から町の直営で行うために、二施設の管理委託料888万円を減額し、町営で行うための会計年度任用職員報酬などや予備費を増額する補正予算でした。

町が当初予算から僅か3か月後に予算を変更する理由は、3月の予算審査特別委員会における業務委託の費用対効果に関する審査意見を踏まえ、費用対効果を検証して判断した結果だそうです。

何故、町は3月の当初予算化前に費用対効果を検証しなかったのでしょうか。

地方自治法第1項第14号の「**最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない**」にも反し、**簡単に覆すような当初予算を作成**

議会議もここで修正ではなく、何故3月に強固に比較検証のデータを求めなかったのでしょうか。

また、「一般質問中に議長が質問要旨から外れているのでは？」と質問議員に度々注意していましたが、

議会の使命は、決定事項が適法、適正、公平、効率的、民主的になされているかを住民全体の立場に立って批判し、監視することにあるのです

から、質問途中で制止するのは良くないと思います。明らかに逸脱した質問では困りますが、町の考えを問うて具体的な決定の是非を審議するのにも必要なこともあります。

さらに、議員は確固たる信念をもって発言してほしい。他議員から発言の削除を求められ、削除を容認し詫げるような質問では困ります。十分準備をして議会質問に臨んでほしいと思います。

最終日には、町長が発言した「**謝罪**」という言葉が「**陳謝**」と修正するように一人の議員から提案がありました。

町長はコロナウイルス予防接種の手際について「お詫び」と「謝罪」という言葉を発言していました。

「謝罪」は罪や過ちを詫びること。

「陳謝」は事情を説明して謝ること。もちろん、町長に求められるのは、「謝罪」ではなく、「陳謝」です。

しかし、今回の場合、今までの議会で何回も「ウオッチン接種の対応は大丈夫です」と答弁してきた町ですから、きちんとした事情を説明して詫びたとはどうい言えません。

これらのようなことは、議会が使命の行財政運営の監視と批判を全う出来ていなかったこと、町の議会軽視、ひいては住民の不利益に通じます。

私たちは**住民は、熟慮不足の議会運営の改革を強く求めたい**と思います。

なお、6月末日をもって1年4か月の任期を残し、露木佳代議員が辞職されました。

季節の食

夏には酢の物

暑い毎日、二度目の自粛の夏、皆様お健やかにお過ごしでしょうか。元気の素は、さしずめ鰻ですが、京都の夏は鰻。生命力が強く、夜通し歩いて運んでも京都に着くまで生きていたそうです。

小骨が多く、「鰻の骨切り」は板前さんの真骨頂ですが、できたものも売っています。葛や片栗粉をまぶして湯がくと、身が開いてポタンの花の様に。梅肉を添えるのは、底紅のボタン見立てと梅の酸味の効用。粹ですね。

酸味(酢)は夏バテ防止と共に腐敗防止にもなります。

ご当地の青摘みかん、お蔭様で少しづつ知られてきました。

塩、砂糖との加減、私共では市販の米酢と日本酒も加えますが、我が家ならではの味で夏を乗り切ってください。鰻の他、蛸、帆立、夏野菜、何でもござれです。

懐石べんとう承ります。

お盆や夏のお客様に、お持ち帰り用折詰も承ります。



☎0463-71-4919
二宮町松根 6-15
www.kyounoaji.com

新庁舎・駅周辺公共施設再編ワークショップ参加者募集中

9月18(土)14:00~16:00
※ほか11月頃までに2回程度開催予定(別途、参加者と調整します。)
町民センター2Aクラブ室
町内在住の18歳以上の方
20名(申込多数の場合は抽選)
8/10(金)までに必要事項(住所、氏名、電話番号、年齢)を伝え、次のいずれかの方法で申込 ①郵送(〒259-0196(住所不要) ②☎75-9483 ③メール shisetsu@town.ninomiya.kanagawa.jp ④FAX73-0134
二宮町施設再編課施設再編推進班

	議員名(敬称省略)	質問概要	傍聴コメント
一般質問 6月10日(木)	前田 憲一郎 <2期> 議会だより編集委員会副委員長	小中学校教育の施策・支援策について 1 小中一貫教育校に対する町の目的と施策、義務教育学校としない理由 2 2023年度からの休日の部活動の指導に対する対応内容 3 ヤングケアラーに対して講じている町の対策、支援策	小中一貫教育校の施設一体型、施設分離型、義務教育学校の定義はわかりましたが、二宮町のめざす教育の姿はわからず、いつまで検討中が続くのか？シンボルー貫校の新設も提案したが時期早尚、新たな施策もない答弁。
	野地 洋正 <2期> 監査委員	新庁舎・駅周辺公共施設再編計画とは 1 「駅及びラディアン周辺施設まちづくり計画」へ方針転換し、新計画策定に至った経緯、位置づけ、目的、策定スケジュール 2 「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」策定委託事業者へ何を求め、現状は？ 3 今後の事業推進予定、スケジュール等	当該計画を6か月で作成することに対し、町長の説明不足、焦り、追加12施設に県有地の果樹公園、民間団体で法人でもない観光協会が入っている等の矛盾、さらに日々の住民サービスの向上の観点から抜けていることを厳しく追及。
	二宮 節子 <2期> 副議長	コロナ感染症により変化が必要な2点を伺う 1 デジタルトランスフォーメーション(DX)対応 ①デジタル弱者に必要な相談窓口の設置や訪問支援員の派遣の考え ②デジタルDXを進めるための組織強化の考え③重点6項目の進捗状況 2 生理用品に対する町の取り組みについて ①通常時の町対応の変化を伺う。②小中学校トイレに常設を望むが現状を伺う	デジタルDXを進めるための対応や専門人員の配置、組織強化など具体的質問がなされたが、提供情報の根本的な考え、有効手段としてのデジタル化を町長に追及してほしかった。生理用品も受動的取り組みにしかなかった。
	羽根 かほる <1期> 教育福祉常任委員会副委員長	町民の命を守るための災害対策について 1 コロナ禍における町民の速やかな避難の体制と避難所の運営 2 葛川の河川整備 3 地震に対する対策 4 新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後の流れ、スケジュール	それぞれの具体的な災害対策を質問。住宅耐震補強やブロック塀撤去は進んでいないことが判明。最初に町長がワクチン接種の不手際を詫びたが、65歳以上は7月末までに完了予定。
	大沼 英樹 <1期> 総務建設経済常任委員会委員長	数多の難題を前に村田町政の真価を問う 1 公共施設の管理不備対策に財政的説明なしに進める「駅及びラディアン周辺施設まちづくり計画」はどうか。2 財時間外勤務手当未払い、セクハラ問題、学童保育の施設不備など不適切な町の事業運営、ワクチン接種プロジェクトチームの低効果、接種受付の大混乱による町民の怒りと不満が噴出している現状への考え3 以上を基に包括的な行政運営の現状	町長答弁でワクチン接種の謝罪。東大跡地や6月補正に触れて、計画策定の熟慮のなさを追及しようとしたのだが、議長から質問要旨から外れると指摘され断念。過去の答弁を根拠に町の再発防止対策の進展説明のなさを、災害対策の勉強不足、まとめの遅さが露呈しました。
松崎 健 <1期> 議会基本条例推進委員会副委員長	町の事業における弱者への配慮について 1 「新型コロナウイルスワクチン接種事業」を巡っての予約の混乱の原因は、弱者への配慮が欠けていたこと等が考えられるが、いかがか。今後の事業展開は？ 2 「都市公園・児童遊園地等改修工事(公園等整備事業)」に対する不評の原因に弱者への配慮が欠けていたこと等と考えるが、いかがか。今後の事業展開は？	ワクチン接種の予約混乱や吾妻山へ自力で登ることができない人へのタクシー乗り入れ試行事業が弱者への配慮不足が如実に出ていることを指摘したが、議長から質問要旨から外れていると注意され、暫定休憩も。議会運営の視点は公共福祉の向上に置いてほしい。	
一般質問 6月11日(金)	渡辺 訓任 <2期> 議会だより編集委員会委員長	レッドゾーン指定後の災害時の避難対策 1 防災対策などへの影響 2 町民への連絡方法などの変更 3 道路や避難経路、学校などの施設で特別警戒区域にかかる部分の今後の対応 4 コロナ禍の行事中止による地域活動支援交付金の防災への活用状況の把握 町民の要求に根ざしたまちづくり計画を 1 第6次総合計画の拠点の打ち出し？ 2 仕様書①「環境配慮」目標の有無 ②保健センター、子育て、議場・議会、庁舎窓口などの機能をラディアンに入れる理由 ③駅前複合施設の町民要望の前提内容 ④デジタル技術活用 of 具体的な想定⑤PPP、PFIなどの手法を検討対象とした理由 3 町の経済活性化に資するものの位置づけ 4 計画に盛り込まれる諸施設・諸事業の優先順位、進め方	各地区での風水害の防災対策は進んでおらず、町民ランド周辺の町道など災害対策拠点となる交通要所の安全性の確保もまだ難しい状況であることが判明しました。再編計画の事業者選定が提案方式なので、まだ詳しい内容は不明確のままであり、この短期間の中で新庁舎整備と周辺を含む再編計画ができるのか疑問です。現庁舎の防災対策も進んでいるようには思えないので、もっと厳しく追及してほしいと思いました。
	根岸 ゆき子 <5期> 教育福祉常任委員会委員長	「新庁舎」いかに、町長に問う 1 庁舎の耐震性不足への対策はスピード感を持って進めるとして他公共施設と分けて進めようとしたが結局公共施設と一体的に検討するということに戻ったことを町長は「かじを切った」と言うのか 2 庁舎移転に対するぶれない町長の軸があれば教えてほしい 3 ワンストップのイメージについてもう少し具体的なことを聞いておきたい。	町長は、長々答弁したが、新庁舎に期待しているラディアン周辺への集約的な具体的な仕組みは見えてこなかった。「町長の自分の言葉で」と再質問。平行線のまま終了。ハード整備は、ソフト事業の取り組みがあつてこそです。
	小笠原 陶子 <6期> 議会運営委員会委員長	死亡時に関する手続きについて 1 遺族向けの手続きをまとめた冊子に年金事務所・法務局など自治体の外に設置されている行政機関の紹介はされているか 2 人生の最後に向けて「エンディングノート」など終活支援は実施しているか。 高齢者のコロナ禍における健康維持について 1 フレイル(虚弱)対策 2 フレイル健診の実施状況 3 高齢者の運動や社会参加の促進	手続きやエンディングノートのまともな取り組みについて、フレイル対策の現状はわかりました。現状確認だけでは議会質問し甲斐はありません。課題やどのような考えで、今後どのように充実させていくのか明らかにさせてください。
	坂本 孝也 <3期> 総務建設経済常任委員会副委員長	村田町政の町づくりの手法について尋ねる 東京大学果樹園跡地活用協議会と管理運営組織の在り方、自立の道は取れるのか	活用協議会の自立の道を追及することで村田町政の問題点が明らかになるかと期待したが、個人批判のような質問に捉われて終了。終了後、一石議員から個人批判と指摘され、議事録から削除容認。坂本議員はお詫びを表明。
	露木 佳代 <2期> 議会基本条例推進委員会委員長	町行政の安全配慮義務と職員の意欲醸成は 1 職員に対する、町の安全配慮義務について 2 職員の仕事に対する意欲の醸成について	職場環境への配慮や意欲醸成について鎌倉市の職員意識調査、総務部長との意識ギャップ、消防職員委員会などの事例をあげて厳しく追及。町長や総務部の改善意欲不足は、答弁の勉強不足が如実に露呈していると思いました。

杉崎俊雄、一石洋子 (敬称省略・議長を除く・議席番号順)

9月議会を楽しもう! 議会定例会開催予定 9月3日(金)~28日(火)(会期26日間) 決算審査特別委員会も開催されます
ぜひ、傍聴しましょう。

まちかど遊学文化コミュニティ

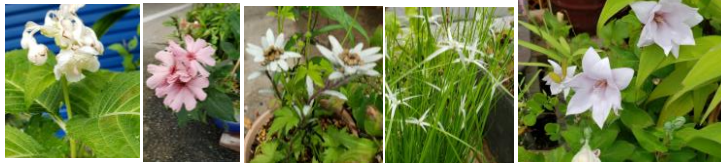
催しや会合が開催されていない時は、まちづくりや野草の本などもありますので、お気軽に室内にもお入りください。ご利用もご相談ください。



まちかど遊学文化コミュニティ
まちなか♡ほっと花処

二宮町二宮
1931-3
(アパート1階の東端)
9時～17時
東京大学果樹園跡地の様々な調査報告書(速報)配架中

まちなか♡ほっと花処 ～ 夏至の頃



その9
畑のものだけで美味しい一皿

スパイス農園を作りたいと思ったきっかけは、インド料理の恩師のつぶやきでした。
「畑のものだけでインド料理って作れるんだよね...」
んっ！と思ったものなるほどと納得してしまいました。
スパイスは薬草を干したものだし、菜種油は菜の花から作られるし、野菜は畑でできます。

そんな訳で畑で美味しいものを育てて・食べて・楽しむことを提案してきたのですが、最近「畑でスパイスッキング」として、その場で野菜を収穫して調理するワークショップをひらいています。
レシピは参加者が作り出すとよかったら、のぞきにいらしてください。



湘南♡風と星物語

この欄の活動は、「二宮遊学の衆」が実施しています。詳しくは、しお風ブログ「湘南♡風と星物語」in 二宮 <http://shiokaze.blog.jp/> をご覧ください。

東京大学果樹園跡地で遊学文化活動実践中！

5/17 近代建築物調査を実施。

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1079044370.html>

5月17日(月)、「二宮遊学の衆」の活動として関東学院大学名誉教授と東海大学建築学科教授を招いて、二宮町施設再編課長と財務課長の立ち合いのもと近代建築物の各棟を調査しました。躯体が強固なので全棟を果樹園と一体となった産業遺跡として保全していく、緊急に屋根補修するなどのご助言いただきました。

5/20 第1回チャリティ町歩き開催。

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1079044701.html>

5月20日(木)、「東京大学果樹園跡地 魅力探訪～みかんの花に誘われて～」を実施。ゲスト解説者の県森林インストラクター宮下啓一さんが神奈川県の森林の現状、里山についてのお話をした後に、跡地内の銘木を見て回りながら、解説。お話や解説は面白く、実際に幹や木の葉を触れ、参加者は樹木に対する興味や親しみが湧いたようでした。その後裏山のみかん畑に野草などのガイドしながら、楽しく向かいました。オプションで「まちなか♡ほっと花処」も案内し、好評でした。



6/3 樹木現況確認調査で果樹園のりんご、栗の木など発見！

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1078628341.html>

6月3日(木)、今年度町が行う環境整備工事に先んじて樹木保全となるように、町の許可を得て樹木現況調査を実施。リンゴ園、桃園があったと想定される場所には、実からリンゴ、スモモと思える木が、栗園は現存していました。樹木同士が絡み、枯れそうなところは片方を伐採したり、剪定する必要がありますが、ほとんど保全し、自然散策道として活かせたらと思います。



5/27 6/9 花の苗を植栽しました。

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1079044785.html>

5月26日(水)、魅力探訪参加者1名が加わり、フェンス沿いの花壇にはびこっている茅を取り除きコスモスなどを、横穴墓周辺にはアジサイと水仙を植え付けました。

6月3日(木)、井戸の水路付近に盛った土にギボウシや半夏生を井戸から横穴墓に通ずるところに水仙、シランを植え付けました。

7/14 水路の再生まっしぐら期待膨らむ。

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1079219694.html>

7月14日(水)、管理舎下の水路の泥出しと草刈り、さらに管理舎の周りの水路も新たに発見し、この再生も開始。豪雨による峯山の斜面からの溢水の解消、自然環境の向上につながると夢が膨らんでいます。



畑のスパイスッキングのご案内

(奇数月に開催)

9月5日(日) 10時～14時

ぽんぽこファームにて (桜美園近く)

7,000円(後日の宅配セットを含む)

申込み event@ponpokofarm.com まで

9月はオクラを調理します！



ゆるゆる畑づくり通信

あぐりっ子

その6 自然に合わせ、土と人と過ごす



今年も、畑とともに梅雨の季節を過ごしています。

関東では、一応6月14日頃が梅雨入りでしたが、その前の5月後半から梅雨のような雨が続き、あと、梅雨明けしたかのような晴れ間があります。6月後半は、来る日も来る日も雨。「畑の活動日」と予定していても畑に入らず。

7月に入ると、突発的な豪雨。「梅雨」とくくれないような気候に、畑の手入れもついでにいけず、一色の山の中にみんなまで

開いた畑も草が主役になりそうな勢いでした。



3月頃、畑の指導をしてくださったっているぼんぼこファームの中村隆一さんが、「今年には季節の進みが早い」とおっしゃっていたことを思い出します。

生えてくる草の種類や成長の勢い、木々の芽吹きが違うのだそうです。だから、野菜作りも今までより早めに動いた方がよいと。

何月にこれをやる、といういつものパターンが通用しないときでも、まわりの植物や虫、動物に教わることであれば、人間も生き残れるかもしれません

毎年のように「異常気象」という言葉を聞きます。でも、気象をすぐに変えることはできません。そして、「異常」なのは人間にとつてであって、他の生き物や環境にとつては当然の流れなのかもしれません。

植物や天気の様子に人間が合わせていくしかないのですが、仕事や他の予定もあり、ひとりではなかなか対応できないのが現実です。

そんなとき、ぼんぼこファームさんから臨時の活動日の呼びかけがあったり、自分が参加できなくても、他のメンバーが草を刈ってくれたり。そのおかげで、畑には野菜が育っています。それが、無理なく楽しくできる。

野菜の収穫だけでなく、そのわけもつかみたい!と思いがながら、土と人と過ごしています。



「しお風」ホームページに連載中



平塚市美術館

開館 30 周年記念

企画展 studio COOCA のパッパラパラダイス 2021

-これがとってもとくいで-

7月10日(土)~9月12日(日)

9:30~17:00 (入場は 16:30 まで)

平塚市内の障害福祉サービス事業所・studio COOCA の作家による絵画とインスタレーションを中心に、公開制作やパフォーマンスもあわせてその作品を紹介し。

休館日 月曜日(8/9 は開館)8/10(火)

観覧料 一般 700 円 高大生 500 円



水野貴男《太陽に向かって飛んでいる鳥》2010 年

The Gift 寄贈を受けた作品選+新収蔵品展

7月3日(土)~10月24日(日)

9:30~17:00 (入場は 16:30 まで)

開館から現在にいたるまで、寄贈を受けた所蔵品及び2020 年度の新所蔵作品、油彩画・日本画、立体作品など約 70 点を紹介。

休館日 月曜日(8/9、9/20 は開館)8/10、9/21(火)

観覧料 一般 200 円 高大生 100 円

二見利節《集い》1940 年、当館蔵

平塚市美術館 平塚市西八幡 1-3-3 ☎0463-35-2111

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/>

平塚市博物館 夏期特別展

平塚空襲 その時、それまで、それから

7月16日(土)~9月5日(日)

9:00~17:00(入館は 16:30 まで) 特別展示室

入場無料 月曜休館(8月10日は休館日)

お問合せ 平塚市博物館 平塚市浅間町 12-41

☎0463-33-5111 <http://www.hirahaku.jp/> 7



世界の20世紀名作住宅の一つ 旧吉田五十八自邸 が二宮から消えてしまいました。

吉田五十八は、「近代数寄屋」の創始者で 現在の住宅の礎を作ったと言っても過言ではありません。

山川秀峰の別荘の設計が二宮町との縁になり、1943(昭和18)年10月に二宮町に疎開し、翌年自邸を設計し転居。亡くなるまで30年間を過ごしています。

「二宮町はものを考える職業にはもってこいの思考の楽園、食べ物の方でも楽園。この辺の生活が、今の世の中での優雅な生活と云いする」と評価しています。

また、二宮町の文化向上にも尽力し、勤労者会主宰の夏季教養大学での講義もしていました。

建物は消えても、功績をたたえ、終の棲家として選ばれた二宮の魅力を取り起し、伝えて行きたい。

吉田五十八に関連した情報をお持ちの方や関心のある方は「しお風」☎090-3142-9358 にご連絡ください。



「しお風」の夢は、住民が主役の「共育のまちづくり」。

地域コミュニケーション紙「しお風」をブログでの配信と年間購読者配布等に切り替えていきます。

なお一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

「しお風」への協賛などのご支援、情報提供や配布などのご協力をお願いします。年間購読料1,000円でお宅にお届けします。

お問合せ先 まちづくり工房「しお風」神保智子 ☎090-3142-9358

振込先 さがみ信用金庫二宮支店 まちづくり工房「しお風」 普通 0220032

二宮の災害を防ぐ情報ボランティアサイト

<https://ninosaibora.jimdofree.com/>



そっと教えたいお店

シフォンケーキのお店 fuwa-fuwa

<http://shiokaze.blog.jp/archives/1079223017.html>

二宮町二宮 149 (国道1号線沿い二宮駅入口信号前)

営業日 水曜日～土曜日

営業時間 10:00～17:00 (売り切れ次第closeの場合があります。)

カフェスペースは現在お休み中です。



店名が示すように、体に優しい素材を使用し、ひとつひとつ手作りにこだわったふわふわシフォンケーキの専門店。6～8種類のシフォンケーキを販売し、季節も楽しんでいただける季節限定のシフォンケーキもあります。8月の季節限定はオレンジシフォンケーキです。

美味しいのはもちろんですが、優しい味で作り手の温かさや想いが感じられます。取材時の季節限定シフォンケーキは豆乳バナナのシフォンケーキで、バナナ嫌いの私でさえ、心がほっとする美味しさでした。

作り手は若い女性店長。プレーンにこだわり、赤ちゃんからお年寄りまでに好まれる、身近なおやつとして楽しんでいただける自然で体にも優しい素材にこだわっています。

そのこだわりは、発酵飼料米を食べて育ったニワトリの卵、ミネラルが豊富な種子島産の粗糖、北海道産の小麦粉、こめぬか米胚芽由来の栄養豊富な米油、ミネラルが豊富な非加熱天日塩を基本素材に使っています。

町内にお住いの店長は3年前にこのお店をオープンさせました。10代の頃からシフォンケーキの作り方を習い、漠然といつか自分のお店を持ちたいと考えていましたが、食の関係の仕事をした後に、周囲の協力も得られ、実現したそうです。接客にはお母様も協力しています。このお店の場所も町内で物件を探しまわっている中で、発見し、とても気に入り、大家さんのご厚意で貸していただきました。

開店時からのお客様のお子さんが赤ちゃんから成長していく様子を拝見できたり、お年寄りが夏場の食欲のない時期に食べられてうれしいなどと伺えたり、地元ならではのお付き合いも生まれ、とても喜びを感じるそうです。

絵、アクセサリー、メモ帳などの可愛い雑貨も購入でき、どれも素敵で悩みながら、選ぶ楽しさも。眺めているだけでも楽しい。

一度訪れたら、ファンになってしまうふわふわ気分にあふれたお店です。ぜひ、訪れてみてください。

東京大学果樹園跡地魅力探訪 チャリティ にのみやまち歩き



第2回「農のある暮らし」

2021.8.28(土) 9:30～11:30

東京大学果樹園跡地正門前9:30集合

参加費500円 定員15名(先着順) ガイドブック貸出

ゲスト解説者：中村隆一 (ぼんぼこファーム主宰・微生物ネットワーク農法提唱者)

地元ガイドの説明を聞きながら跡地を巡り、ぼんぼこファームのある裏山を目指します。

いざ、夏の原風景へ。

一緒に歩いてみませんか？

主催：二宮遊学の衆

共催：東京大学果樹園跡地活用協議会遊学文化部会
ツアーの収益は上記協議会に寄付します。



跡地写真館



【生産物加工室】

[申込み] 2021.8.26(木)メ切
090-3142-9358 担当：神保
shiokaze@mj.scn-net.ne.jp
または二宮遊学の衆のFacebook、
Instagram宛のDMでも可能です。



walkwalk 地域探検 参加者募集中!



東京大学果樹園跡地の自然や文化財の再生と歴史を学ぶ「まちなか♡遊学文化活動」として、正門からのアプローチとフェンス添いの草刈りや花の手入れ、水路の再生、カラタチ、フェイジョアの保全、植生、全国有数の諏訪脇横穴墓群、近代建築物等の調査を行っています。

第2、第4水曜日 5～9月 15:00～16:30

10～4月 14:00～16:00

お問合せ・お申込み 「二宮遊学の衆」神保 ☎090-3142-9358

✉ shiokaze@mj.scn-net.ne.jp



みかん育て隊 参加者募集中!

みかんを無農薬・無肥料で育て、季節ごとの里山の恵みを体感する催しを交えながら、草刈りなどの手入れをしています。

原則第2土曜日 10～4月 10:00～、5～9月 9:00～

参加費無料、自己責任参加、雨天中止

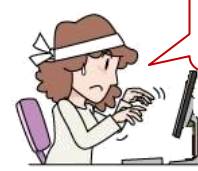
8月21日 9:00～11:30 草刈り、みかんの青摘み

9月12日 9:00～11:00 草刈り 10月10日 9:00～11:00 草刈り

お問合せ・お申込み 「しお風」神保 ☎090-3142-9358

✉ shiokaze@mj.scn-net.ne.jp

ホームページ
QRコード
さい。ページを
ご覧ください
参考記事は
ホーム



次回「しお風」は
11月10日発行。

しお風さん、近代建築物の
イラスト作成 矢戸優人